

2020

令和2年

勝山市

エコミュージアム

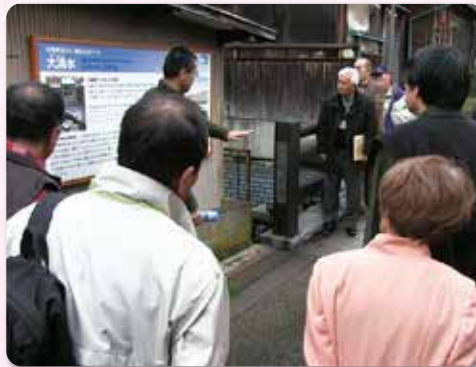
ニュース

わがまちジオツアー

エコミュージアム協議会では、勝山市民に勝山をもっと知ってもらうことを目的に各地区のおすすめコースを作成しました。平成27年度から実際に各地区を回るジオツアーを始めました。猪野瀬地区から始めたジオツアーも令和2年10月の野向地区のツアーをもって全地区をまわることができました。今後はこのジオツアーをまとめていく予定です。



H28.3.19
わがまち早春探訪
勝山城より猪野瀬地区を望む



H28.3.19
勝山まち歩きツアー
大清水



H28.7.9
岩屋川流域の名所を巡るジオツアー
旧木下家住宅



H28.10.2
まほろば4周年白山開山1300年祭プレツアー



H29.4.16
鹿谷矢戸坂の薄墨桜の観賞とジオ探訪



H29.6.25
村岡山城跡とジオ探訪



H30.7.8
荒土の自然・産業・歴史遺産とジオ探訪
温川梅花藻



H30.10.27
遅羽町の魅力いっぱいツアー
下荒井トンネル



R2.10.10
野向ジオサイトめぐり
薬師神社



1-1 平泉寺町まちづくり推進協議会

白山平泉寺参道燈明プロジェクトⅨと フォトコンテスト

大晦日の深夜に雪に包まれた白山平泉寺の参道を心温まる竹燈明330基で浮かび上がらせて新年を迎えていただきました。また、燈明プロジェクトを題材とした写真を募集するフォトコンテストを併せて実施しました。

1-2 まちづくり・むろこの会

村岡山の整備

山頂からの見晴らしをよくするため、枯れ木の伐採や、草刈りを行いました。また、登りにくい箇所に階段を設置したり、ベンチに防腐剤を塗布する等、より快適に登ってもらえるよう整備しました。

1-3 NPO法人まちづくりのむきの会

野向ジオサイトめぐり

野向町のシンボルとなっている山「高尾岳（通称：高尾山）」と、地域を象徴する河川「滝波川及び野津又川」に沿って散策しました。山や河川は、雪崩、土砂崩れや洪水などの自然災害を引き起こしてきましたが、野向町の人たちは山や川と共存して、これまで暮らし続けています。野向町の人々の暮らし（エゴマ栽培）等とどのように関わっているか体験しました。

1-4 荒土町ふるさとづくり推進協議会

炭焼き

今年は830kg程の木炭を生産しました。余剰原木を利用したなめこ栽培にも挑戦し、秋に一部の木からなめこを収穫することができました。又、木炭になった竹炭を使って「合格祈願の御炭付き」のユニークな発想で小学生がお守りを作成し、受験生に無料で配布しました。

1-5 遅羽町住民協議会

バンビラインハイキングコース整備

毎年4月上旬に開催する『カタクリまつりとバンビラインハイキング』をはじめ、年間を通じて多くの方にバンビラインを楽しんでもらえるよう、コースの草刈りや枯木伐採、危険箇所のロープ張り、看板設置などの整備を行いました。



1-6 谷はやし込み保存会

春期のほおば会

谷はやし込み保存会主催、春期ほおば会はコロナ感染症拡大防止のため県内外には中止のお知らせをし、谷区民と会員のみ約30名で5月24日開催致しました。各事業は例年通り行い、区民会員の相互の親睦を図りました。又来年の再会を約束しました。

1-7 沢山会

米作り体験学習とジオパーク

毎年、成器西小学校5年生に田植えと稲刈りの体験学習を実施しています。田植えは、新型コロナウイルス感染症拡大防止から中止し、秋の収穫体験のみ実施することができました。後日、西校で大地の恵みに感謝する「感謝の会」が開かれ、町澄秋学芸員と共に参加しました。町学芸員には、勝山で恐竜化石が見つかるために欠かせなかった大地の活動と稲作が営まれる場所の大地の成り立ちとの関係について説明していただきました。

1-8 NPO法人 せいきコミュニティスポーツクラブ

健康でアクティブな“参加型観光事業”

コロナ禍で、いろんなスポーツ活動が中止され悩んだ結果、こんな時だからこそみんなの力を一つにして、正しい感染予防策を講じて、ソーシャルウォーキングのスポーツツーリズムで「石がたり」のストーリー化に取り組んでいます。

1-9 むろこ女性の会

ジオウォーキング in 長尾山

ジオcaféの一環で、久しぶりの会員と新緑の長尾山公園を散策しました。密に気を配りながらですが、恐竜の森のガイドのもと、楽しく歩くことが出来ました。地元でもある長尾山を少しでも知る機会となりました。

1-10 北谷食産グループ

休耕田を利用して雑穀の増産事業

北谷町特産のキビ、粟の雑穀を復活するため15年前から北谷食産グループが栽培、販売し続けてきたところ、健康食である雑穀ブームで「北谷の雑穀」として少しずつ人気が出始めてきたため休耕田を利用して雑穀の増産に取り組みました。



〔新規チャレンジ事業の部〕

1-11 合同会社グループロテク

どじょうの養殖で勝山の活性化を！

勝山の新名物を目指して、白山平泉寺どじょうをブランド化し、平泉寺はもちろん勝山市の活性化を目的としています。現在は、キッチンカーでの販売、道の駅への出品、活魚として居酒屋等への販売を行っています。

1-12 壇ヶ城会

登山道整備（細道の拡幅）

今日はこけら落とし！階段敷設後初めてのお客様、荒土小学校親子20数名が来場。境内で宝探し（水晶）後登山開始、拡幅予定箇所を恐る恐る通過、新設の階段を踏み締めて悠々天守台へ到着。絶景に、皆が思いは戦国時代に夢現。

1-13 M'sかっちゃん恐竜の里工房

恐竜手ぬぐいで勝山をPR

恐竜化石の産出で全国的にも有名な勝山市ですが、実際に勝山で見つかった恐竜をモチーフにしたお土産がありませんでした。そこで勝山から見つかった5種類の恐竜をデザインした手ぬぐいを作成しました。

2-1 荒土ふるさと大好きプロジェクト

荒土町の魅力を学び発信

各学年がテーマを決め荒土町の魅力を学び、様々な方法で発信しています。特に3年生は、町のすばらしい景観を写真に収め、絵葉書にして多くの人に届けます。

2-2 杉の子ふるさと発信隊

平泉寺の魅力発信！杉の子ふるさと発信隊！

平泉寺に伝わる昔話の舞台やジオサイトを見学し、保護者や地域に魅力を発信しました。また、日本遺産認定で交流が始まった一乗小学校の児童に白山平泉寺を案内しました。今後は、『平泉寺の語り部』として観光客などにも発信したいと思っています。



3-1 勝山地区まちづくり協議会

勝山地区アンケート調査

新型コロナウイルス禍において地域交流ができない状態が続く中、これからの新しい時代のまちづくりを考える機会を持つため、アンケート調査を行いました。寄せられた皆様からのご意見・アイデア等の「声」を活かし、まちづくりを計画していこうと考えます。

3-2 猪野瀬まちづくり推進協議会

皆で歩こう！ いのせウォーキング

平成30年から「いのせウォーキング」を開催しています。猪野瀬をゆっくり歩くことで、地元のすばらしさを確認、地区住民の健康増進と親睦を深めるなどを目的としています。参加者にとっても、とても有意義なウォーキングになっています。

3-3 縄文の里料理研究会

雪室活用で夢膨らむ！

勝山の雪室に半年貯蔵されていたじゃがいもを使用して「じゃがいものガレット」を作りました。甘く、ホクホクした味わいで好評でした。これを機会に雪室弁当に取り組みます。お楽しみに！

3-4 (公社)勝山青年会議所

勝山左義長まつり参画事業

コロナ禍の中ではありましたが、令和2年2月の勝山左義長まつりに参画いたしました。アサラトと呼ばれる民族楽器を体験制作してもらい、左義長のリズムに合わせて祭りを盛り上げていただきました。

3-5 いのせボーノくらぶ

猪野瀬文化祭にてボーノアピール

11月3日～8日、猪野瀬文化祭展示において、いのせボーノくらぶの活動内容を写真、チラシ等でアピール。来場者からは「頑張っているね」「活動応援します」との声が聞かれ、今後の活動の大きな力を得ました。

第8回ジオツアー 野向ジオサイトめぐり

令和2年10月10日(土)

野向地区の2大河川(滝波川と野津又川)の流域に沿ってのジオツアーでした。滝波川方面では大正時代からの神谷発電所やその後の発電所の変遷と人々の暮らしとの関わりを聞きながら現地を確認できました。また薬師神社の貴重な仏像や古文書や絵馬を拝見しながら、ここが白山禅定道の起点であったことには大変驚きました。またジオを活かした山あいのコスモス畑にも随分癒やされました。一方、野津又川方面では八反滝周辺の地質や岩石を知ること、横倉地域が昔から雪崩の被害に遭ってきた大きな被災跡をまの当たりにし、当時の苦勞を偲ぶことができました。八反滝周辺では大野市まで見渡せる南側に開けた展望がとても素晴らしいと感じました。時間の関係で、それぞれのジオサイトを充分堪能とはいきませんでした。とても内容の濃いツアーだったと思います。



旧神谷発電所内部



コスモス畑でジオガイドによる説明



薬師神社内部



八反滝

自然環境部会

湧水の調査 2年目

古老の話によると旧勝山町には多くの湧水が出ていたそうです。これらは七里壁の下に分布していました。今は出なくなっています。この湧水地を探して歩きました。現在も出ている場所は大清水だけで、3か所は形跡があり、2か所は埋められ形跡もありませんでした。以前は「バイカモ」が生息していたこと、魚のイケスに利用されていたこと等の話も聞き、水環境が素晴らしいものであったと思われる。



本町 岸の下清水あと



国泰寺参道下清水あと

食の部会

勝山市道の駅「恐竜渓谷かつやま」視察

R2.7.16(木)

店内を見学し、気になった商品や今後の開発に活かそうなものを購入して試食しました。



雪室掃除作業に参加

R2.12.8(火)

雪が溶けきったので次の雪が降る前に、倉庫内の清掃活動に参加しました。



雪室おにぎり試作

R2.12.16(水)

雪室で熟成させた米を使っておにぎりを試作しました。



雪室おにぎり弁当

R3.2.10(水)

おにぎりの次は容器の検討です。



雪室弁当研修会 R2.11.25(水)

福井郷土料理研究家・フードディレクターの佐々木京美氏をお招きし、雪室弁当のメニューの考え方、売り方、見せ方について学びました。大切なのは、何のために弁当を開発するのかをみんなで話し合っってしっかり決めること。

暮らしの中に郷土料理が残っている福井県のよさを活かしたメニューや謂れをきちんと説明して伝えることなど教えていただきました。



食の部会では、大地の恵みを美味しく皆様に提供するために雪室を利用し、雪室おにぎりとして販売していく予定です。価格、販売先、容器の検討や雪室のよさをどう伝えるかなど話し合いを進めています。

